

企画・制作=京都新聞COM

未来のコンパスProject

「新たな可能性」

このプロジェクトは、京都のマスメディアが中心となり、京都の人たちの力を結集して、みんなで前向きになれるきっかけをつくる啓発キャンペーンです。特別寄稿【新たな可能性】第4回は、経済学者の堂目卓生さん、倫理学者の児玉聡さんに寄稿してもらいました。

——この先の、その先の、新しい日常へ。

主催=未来のコンパスProject実行委員会
(京都新聞/KBS京都ラジオ/エフエム京都)
後援=京都商工会議所/(一社)京都経営者協会/
(一社)京都経済同友会/(公社)京都工業会
協力=日商社

昨年未だから世界に広まった新型コロナウイルスは、90万人(2020年9月現在)以上の命を奪うとともに、感染が拡大した国や地域における人々の生活を一変させた。日本では、5月には緊急事態宣言は解除されたが、7月に入って感染が再び拡大し、完全に終息する目途は立っていない。また、さまざまな自粛によって打撃を受けた生業をどのように回復させるのか、子どもたちや学生の学習の遅れをどのように取り戻すかなど、経済や教育、社会に関わる課題も山積している。

新型コロナウイルスの影響は甚大であり、人類は「ウィズコロナ・ポストコロナの時代」と呼ばれる難局を生きていかなくてはならない。しかし、視点を変えるならば、この難局は、科

学技術、医療制度、経済システム、会社組織、コミュニティ、個人の生活や価値観など、これまでの常識を見直し、予期せぬ災害が生じても互いに協力して復興させる、持続可能な社会を形成する機会といえる。

持続可能な社会の鍵となるのは、他人への思いやりである。災害時に政府や自治体などのような政策を打ち出そうとも、各人がその意味をよく理解し、自分以外の人のことも考え、自分の意志で行動しなければ、政策の目的は達せられないであろう。

他者への思いやりは、人と人との日常的なつながりの中で「共感」を通じて育まれる。共感とは、他人の立場に立ち、他人の感情を自分のものとして感じる心の働きである。家庭、学校、職場、地域など、あらゆる場において、共感を通じて他者の命を尊重する意識を、これまで以上に高めなくてはならない。特に、障がい者、子ども、女性、外国人、経済的に困窮している人など、自然的・社会的要因によって不利な立場に置かれている人びと

——災害時に最も深刻な打撃を受ける可能性のある人びと——に対する共感を高めなくてはならない。「弱者」を中心に置き共感によって支えられた人と人とのつながり——「共感ネットワーク」——こそ、災害に耐えう

る社会の基礎である。災害時、予期せぬ事態の中で、行政が打ち出す対策を待っているだけでは、被害を最小限に食い止める、迅速に復興を進める、迅速に復興を進めることはできない。学校、職場、地域、ボランティア、SNSなど、

何重にも張り巡らされたネットワークの中で、苦境に陥っている人を見つけ、助け出す仕組みがなくてはならない。「つながりが生み出すイノベーション」(2020年)の著者、菅野拓氏によれば、阪神淡路大震災以来、日本では、そのようなネットワークが着実に形成されてきた。

新型コロナウイルスに対する最終的な解決は、ワクチンの開発にかかっている。また、テレワークや遠隔授業に切り替えることができたのも、IT技術が進み、普及しているおかげだ。今後のウイルス対策や経済復興、働き方や教育の改革についても、先端技術に対する期待は大きい。しかしながら、科学技術だけで課題を解決することはできない。大切にしたい価値や目指すべき社会を見出し、科学技術を役立たせる意識を、社会と学術機関が協働して生み出さなくてはならない。私が勤務する大阪大学は、文部科学省からの委託を受けて、「人文学・社会科学を軸とした学術知創プロジェクト」を推進することになった。

今回、東京一極集中の問題があらわになり、地方分散型社会に新たな意義が加えられた。特に、関西圏には、2025年の万博に向けて、「いのち輝く未来社会」をデザインすることが求められている。万博は、「誰一人取り残さない」を標語とする国連の持続可能な開発目標(SDGs)を推進する世界の祭典だ。ポスト・コロナの時代を超えて、グローバルな共感ネットワークを形成し、人類全体で新たな時代を切り開く場になるだろう。

今、私たち一人一人が意識を変容させるときにある。

堂目卓生 経済学者

公共衛生と科学技術の関係

児玉聡 倫理学者

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

しかし、公共衛生の重要な目的の一つである感染症対策のために、個人の移動や渡航の自由はおろか、営業の自由までがこれほど大きく制限されるとは、多くの人は想像していなかったのではないだろうか。それだけで

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

公共衛生と個人の自由は鋭く対立する。これが今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)のパンデミック(世界的大流行)で明らかになった教訓の一つだ。公共衛生は、市民全体の健康を維持増進することを目的とする学問であり実践である。これが個人の自由と衝突し得ることは、例えば屋内施設の分煙や完全禁煙などを考えてみればわかるだろう。

●未来のコンパスProject「はじめる一歩」宣言

コロナ以降あちこちで見えるアマビエ。大昔の瓦版によると「疫病が流行ったら私の絵を見せよ」と告げたとか。野暮な指摘ですが「疫病が治る」とは言っていない。でも、もしかすると「妖怪の絵を面白がるくらい心の余裕は持っておけ」と言っているのかもしれない。【妖怪造形家・河野準也】

会いたい時に会えていた家族や友達、メンバー、ファンの方々。大切な人たちに会えず、家の中で自分と向き合っていると足りないものが見えてきました。この期間にオンラインで新しいことを学び始めました。少しでも自分の蓄えを増やして新しい表現ができるようにしたいです。【AKB48・横山由依】

「舞台」はこの期間に絶滅し皆さみに届ける事がなくなりました。今は安全に最大限配慮し客席を半分にした新たな一歩を踏み出しています。不安もありましたが温かいお言葉ばかり頂きました。「人は人にふれあわないと生きてはいけない」こちらが教えて頂いた気持ちで一杯です。【俳優・君沢ユウキ】

●各界で活躍する方々の「はじめる一歩」宣言を公開しています。Twitter/Facebook:「未来のコンパス」で検索

新しい日常を共有しよう。世界のいろいろなことが変わりつつある今 私たちが歩もうとしているのは、これまでなかった新しい地図に描かれる道。期待と同じくらい不安もいっぱいありますが 一人一人の小さなチャレンジが、きっと道を切り拓くコンパス(羅針盤)になるはず。まだ見ぬ地図、まだなき道を、みんなで歩いていく「未来のコンパスProject」。私たちと一緒に新しい日常へ。「はじめる一歩」しませんか。

私たちは「未来のコンパスProject」を応援しています

アサヒビール株式会社 茨木屋 石清水八幡宮 上原成商事株式会社 打田漬物商工業株式会社 裏千家今日庵 株式会社NTTドコモ NTT西日本 京都支店 大阪ガス株式会社 医療法人仁愛会 川村産婦人科 株式会社キッズカンパニー 株式会社響映 京懐石美濃吉 京都経節株式会社 医療法人啓信会 京都きづ川病院 株式会社京都銀行 学校法人京都産業大学 京都サンダー株式会社 京都市民共済生活協同組合 京都信用金庫 京都青果合同株式会社 京都中央信用金庫 株式会社京都東急ホテル 京都府瓦工事協同組合 京都薬品工業株式会社 京料理 六盛 清水寺 キリンビール株式会社 京滋支社 株式会社きんでん 京都支店 臨済宗大本山 建仁寺 株式会社公益社 有限会社洗春陶苑 護王神社 株式会社小嶋商店 浄土宗大本山 金戒光明寺 株式会社サン・クロレラ ジーク株式会社 株式会社ジェイアール西日本伊勢丹 天台宗 寂光院 株式会社しょうざん 浄土真宗本願寺派 株式会社SCREENホールディングス 星和電機株式会社 総本山 醍醐寺 株式会社大藤 株式会社大丸松坂屋百貨店 学校法人大和学園 大和ハウス工業株式会社 京都支社 株式会社高島屋京都店 株式会社辻利兵衛本店 株式会社天空PR 土井志ば漬本舗 株式会社トーセ 株式会社ドライブ・ドア 中沼アーツスクリーン株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 NISSHA株式会社 日新電機株式会社 日本公認会計士協会 京滋会 日本生命保険相互会社 京都支社 日本たばこ産業株式会社 学校法人二本松学院 京都美術工芸大学 総本山 仁和寺 野村證券株式会社 京都支店 株式会社花市商店 株式会社日立製作所 宗教法人平等院 富士ゼロックス京都株式会社 佛教大学 大本山天龍寺塔頭 宝蔵院 保津川遊船企業組合 舞妓の茶本舗 株式会社増田医科器械 三井不動産株式会社 京都支店 壬生寺 株式会社村田製作所 村山造酢株式会社 彌榮自動車株式会社 株式会社ローパー都市建築事務所 株式会社ロマンズ小杉 株式会社ワコール